

食に特化した事業承継への思いは？

まん福ホールディングス 加藤社長に聞く

世界に誇る日本の食文化を未来につなぐ。そんな思いで食に特化した事業承継プラットフォーム事業を展開するまん福ホールディングス(株)(東京・恵比寿)が今年10月、静岡・焼津で水産加工業を営んできた嶺山佐食品を事業承継した。今年4月に創業したまん福HDにとって3社目で、水産関連では初の事業承継になる。あきんどスシローの経営に参画し回転寿司売り上げ日本一、顧客満足度日本一に貢献した実績をもつ加藤智治社長(写真)は水産業の事業承継にどんな思いを込めたのか聞いた。

(中島)

まん福HDの事業承継の特徴は。

加藤社長 食に特化した事業承継プラットフォームというビジネスモデルで起業した。後継者不足に悩む食の中小企業を事業承継すること、血のつながりはないが、われわれが後継者となり、長期的な発展を社員の方々と一緒に突き進んでいくコンセプトで取り組んでいる。起業してまだ半年程度だが、現在のところ

中小企業の魅力をかけ算

グループで切り開く日本食の未来

3社承継させていた

3社承継させていた

3社承継させていた

3社承継させていた

3社承継させていた

3社承継させていた

3社承継させていた

3社承継させていた

普通は、事業承継の機会はないが、われわれが後継者となり、長期的な発展を社員の方々と一緒に突き進んでいくコンセプトで取り組んでいる。起業してまだ半年程度だが、現在のところ川上に近い食肉加工や水産加工などの会社も承継すること、グループで切り開く日本食の未来を築き、その中小企業がもつて



普通は、事業承継の機会はないが、われわれが後継者となり、長期的な発展を社員の方々と一緒に突き進んでいくコンセプトで取り組んでいる。起業してまだ半年程度だが、現在のところ川上に近い食肉加工や水産加工などの会社も承継すること、グループで切り開く日本食の未来を築き、その中小企業がもつて

